

令和6年度 安曇野市自立支援協議会 会議概要

1	会議名称	令和6年度 第2回安曇野市自立支援協議会
2	日 時	令和7年1月22日 午後3時00分から午後4時20分まで
3	会 場	安曇野市役所 3階 全員協議会室
4	出席者	内田委員、馬淵委員、奥永委員、尾曾委員、吉田委員、平林委員、 中井委員、竹澤委員、西澤委員、中村豊江委員、藤田委員、望月委員、 山崎委員、小穴委員、中村文子委員、山田委員（代理）
5	事務局（障がい者支援課）	太田課長、高橋課長補佐、関係長、宮澤係長 百瀬保健師、宮入社会福祉士、藤松主査
6	公開・非公開の別	一部非公開 （協議事項のうち個人情報を含む内容は、安曇野市付属機関等の設置及び運営に関する指針6に該当）
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和7年1月29日

協 議 事 項 等

【会議概要】

- 1 開会
- 2 奥永会長あいさつ
- 3 協議事項
 - （1） 令和5年度市民意識調査での市民意見に対する対応案について（資料1）
 - （2） 専門部会における協議内容の承認について（資料2）
 - （3） 「令和6年度精神障がい者地域生活支援研修会」共催の承認について（資料3）
- 4 報告事項
 - （1） 専門部会、精神障がい者社会復帰施設等連絡会開催状況（資料4）
 - （2） 令和6年度松本障害保健福祉圏域関係会議開催状況（資料5）
- 5 その他
- 6 閉会

【協議事項】

- （1） 令和5年度市民意識調査での市民意見に対する対応案について（資料1）
 - ①事務局より説明
 - ・集計の結果では「障がい福祉」分野は、重要度が高くかつ満足度が低い分野の一つという結果になった。市民の「障がい福祉」に対する意識の醸成のため、どのような取り組みを行えばよいか。
 - ②質疑
（委員より）
 - 《全体を通して》
 - ・全体を通してカバーをしていくのは無理があるのではないか。各論で埋めていかないと、総論は上がっていかない。
 - 《設問について》
 - ・満足度が低いのはどなたから見て低いのか。何をもって満足か。
 - ・色々な政策をするには予算を付けなくてはならない。

- ・満足度の目標値を設定してから検討したら良いのでは。
- ・情報の分析、精査が必要。

《障がい者を知る》

- ・色々な場に行きたいけれど行けないような家庭にフォーカスを当て、行事や催しに親だけでなく市の職員も参加し、手伝うことがあったと良い。
- ・地域に意識が上がる取組としては利用者さんが地域になるべく出ていくことが大事。外の企業様との繋がりが大事。
- ・障がいサービスや仕組みについてアクセスし易くする。
- ・市民に障がいのある人のことを知ってもらう。障害者週間等のイベントは全庁的に考え市の職員が障がいについて学んでほしい。福祉のことを知らない人の発想が大事。
- ・横の連携が取れていない。障がいに対して知らないで直接障がいの方に会える機会があると良い。
- ・理解、認知度の低さが課題と分析されているので、PR 活動が必要。

《支援者・事業所に関する内容》

- ・学校の理解が低い。教員の教育が必要。
- ・グループホームが足りない。
- ・相談支援専門員が足りない。
- ・事業所同士の中で情報交換があると良い。

《拠点整備事業》

- ・親亡き後の不安が今一番の心配で、親も高齢になっているので研修会等してほしい。
- ・8050 問題は相談支援部会でも取り上げていく。
- ・親亡き後の問題では、地域生活拠点整備の空床確保でショートを緊急で受けるという取組を維持する。

《その他施策》

- ・福祉医療の精神の入院費を無料にしてほしい。
- ・市内に養護学校ができると良い。
- ・送迎サービスがあると良い。
- ・市内に視覚障害者が入所できる施設があると良い。
- ・市内の飲食店に障がい者用のトイレが少ないので設置してほしい。

(事務局より)

- ・満足度に対する設問とは、安曇野市の行政に関することという枠組みの中で、市の全体的な施策について各政策の内容について現在どの程度満足しているかを問うもの。
- ・本日の意見をまとめ、次回の協議会で取組内容等を報告する。

(2) 専門部会における協議内容の承認について(資料2)(事務局より説明)

① 相談支援部会

- ・ 件名：サービス利用者でも緊急時に利用できる体制を整える
- ・ 趣旨：親亡き後を見据え、サービス利用者に緊急時対応が必要な場合の対応等について研究し、支援体制を整えたい。
- ・ 今後：今の制度を再確認し、対応できるよう調査・研修する。
- ・ 質疑なし。異議なし。承認。

② こども部会

- ・ 件名：「医療的ケア児等支援ガイドブック」の作成
- ・ 趣旨：医療的ケア児や保護者の皆さんに支援体制を知っていただき、先の見える安心した暮らしを提供するためにガイドブックを作成したい。
- ・ 今後：関係機関をオブザーバとして協議していく。
- ・ 質疑なし。異議なし。承認。

(3) 「令和6年度精神障がい者地域生活支援研修会」共催の承認について(資料3)(事務局より説明)

- ・ 質疑なし。異議なし。承認。

【報告事項】

(1) 専門部会、精神障がい者社会復帰施設等連絡会開催状況(資料4)(事務局より報告)

① 相談支援部会(相談支援専門員連絡会)

- ・ 第1回 4/18：年間予定担当事業所決め、部会として活動していくと意志を確認、各事業所からのお知らせや相談等
- ・ 第2回 5/21：報酬改定について、質疑応答、各事業所からのお知らせや相談等
- ・ 第3回 6/13：事例検討、スキルアップ研修、各事業所からのお知らせや相談等
- ・ 第4回 9/12：精神障がい者社会復帰施設等連絡会と合同検討
- ・ 第5回 10/17：委嘱書の交付、災害への備えについて個別避難計画の概要等を福祉課より説明、グループワーク・全体共有、各事業所からのお知らせや相談等
- ・ 第6回 12/19：介護保険との連携(介護保険への移行等)、グループワーク・全体共有、各事業所からのお知らせや相談等
- ・ 質疑なし。

② こども部会(障がい児通所支援事業所連絡会)

- ・ 7/12：災害への備え、福祉避難所等について、グループワーク
- ・ 質疑なし。

③ 精神障がい者社会復帰施設等連絡会

- ・ 第1回 9/12：精神障がい者の地域移行の現状と支援について、村井病院ソーシャルワーカーとハートラインまつもと相談支援専門員が事例を通じて地域移行に向けて実施した支援や課題を発表。

- ・第2回 12/10：地域移行後の支援での課題、関係機関での支援状況、取組、課題解決に向けて必要なことをグループワークし全体で共有。

- ・質疑なし。

(2) 令和6年度松本障害保健福祉圏域関係会議開催状況（資料5）（事務局より報告）

- ・質疑なし。

【その他】

- ・事務局から特になし。委員から特になし。

※会議概要は、原則として公開します。